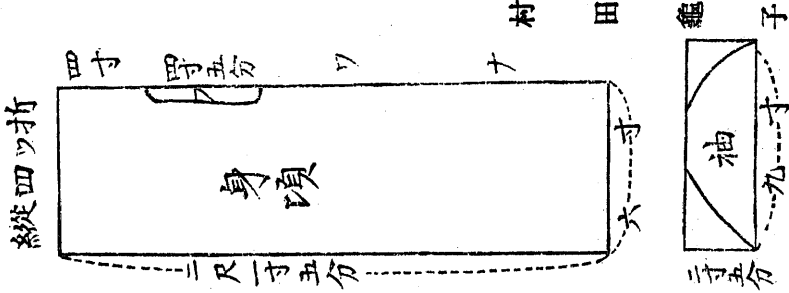
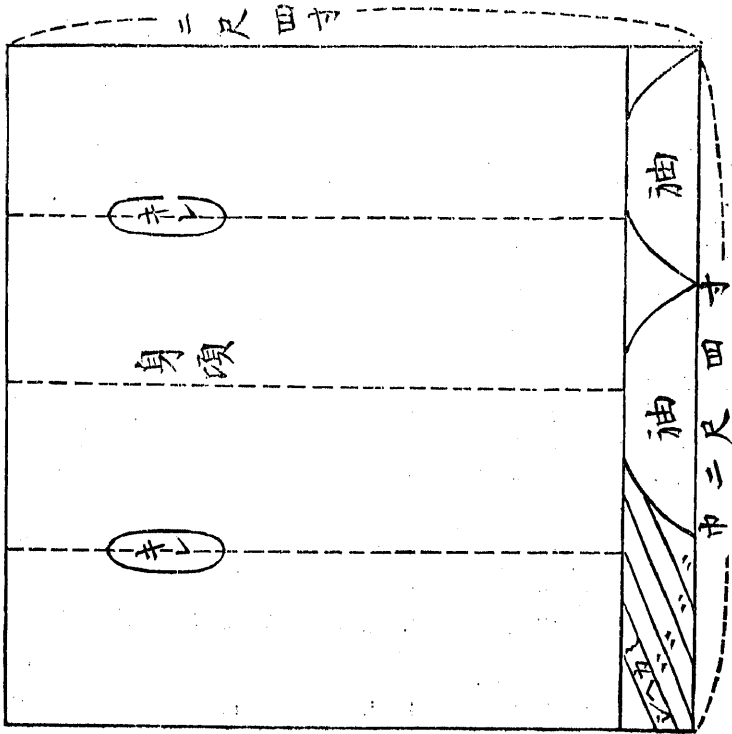


新形西洋前掛 (小兒四五才のもの)
 (原布、巾二尺四寸、長さ二尺四寸)



裁ち方の解
 先づ、総一尺二尺四寸の内より袖の二寸五分を裁切り其残りを縦四つ折すなり。第一圖の如く四寸下りし所より四寸五分の間に於て一寸を裁落すなり。袖は最初裁置さたる二寸五分の布を、九寸巾のもの二枚となし、二ツハを兩方にて第二圖の如く裁落すなり。

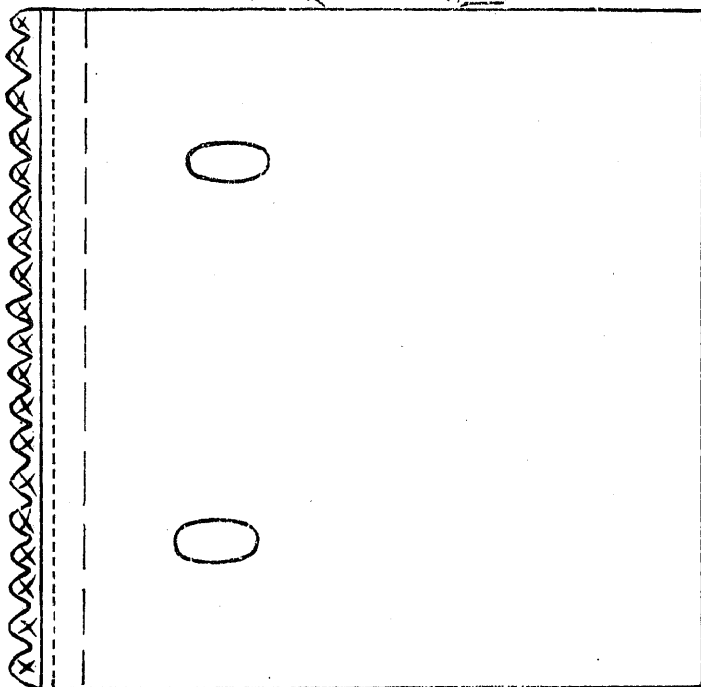
裁ち方の總合の圖

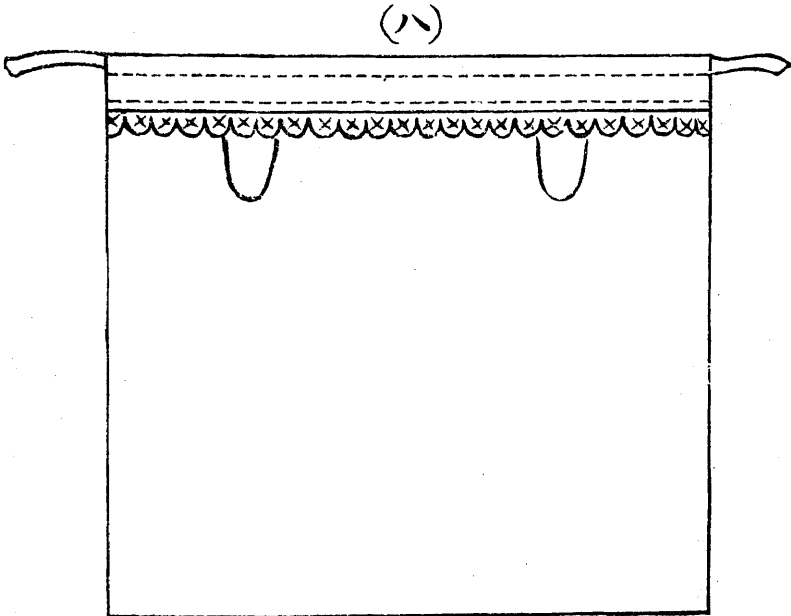
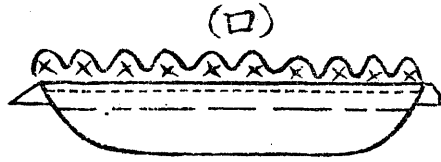


縫 合 方 法

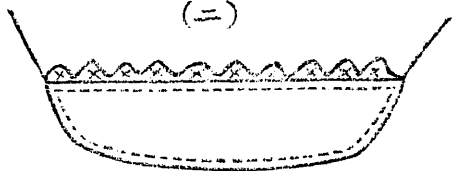
先づ袖の真正な所と、身頃の上の端とを一つ折しなして其所へレースを縫付けミシン縫をなす。(イ圖参照)次に身頃の裾を三つ折してミシン縫をなし、次に身頃のレースを付けし所より二寸下りし所に折を付け四分の縫込としてミシン縫をなす。これは首の廻りとなる所にて四分縫込なる中へ二尺八寸位の長さのラップを通し着する時首の廻りだけにひさしめて後にて結ぶなり。(ハ圖参照)次に袖のまるく裁ちたる方を細かく縫ひギヤタとなし身頃の脇明の二分の一の所より上に縫ひ付けるなり。此時うらに斜切の見返しを縫付けこの布にて縫込みをくるみ身頃の方へ、マツリ付ける。(但し縫上りて身丈の長さ時は裾より二寸五分程上りし所にタクを二筋程取る)

レースラ付ケタル圖





(二)



出来上り

